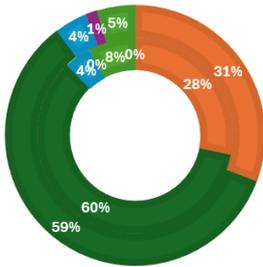


令和7年度 学校教育に関するアンケートのまとめ

調布市立第二小学校
校長 関村 明子



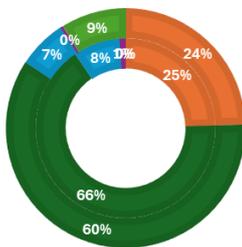
1. 学校は、子どもがよくわかる授業の工夫をしている



1. 学校は、子どもが楽しく、よく分かる授業の工夫を行っている。

保護者の肯定的評価が90%となっています。児童の肯定的回答も96.7%と高い割合となっています。一方、否定的に答えている児童がいることも忘れず、今後も子どもたちの様子を丁寧に見て、「よく分かる授業づくり」に努めていきます。

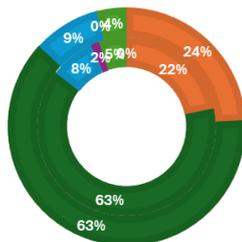
2. 学校は、ICT機器の活用や子ども同士の学び合いを推進するなど、子ども主体的な学びの実現に向けた授業づくりを進めている



2. 学校は、ICT機器の活用や子ども同士の学び合いを推進するなど、子どもの主体的な学びの実現に向けた授業づくりを進めている。

保護者の肯定的評価は84.2%で、昨年より「わからない」の割合が多かったです。児童の肯定的回答は93.3%でした。児童用タブレットでは、インターネットを活用した調べ学習、オクリンクプラスというソフトでの友達との意見交換、プレゼンテーションソフトを使った発表資料作り、ドリルパークでの計算練習など、様々な学習場面でICT機器を活用した主体的な学びを行っています。今後も、情報モラル教育と合わせて、活用を進めていきます。

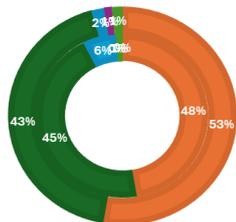
3. 学校は、日々の学習や「あゆみ」で適切な評価をし、子どもたちが意欲的に取り組む工夫をしている



3. 学校は、日々の学習や「あゆみ」で適切な評価をし、子どもが意欲的に取り組む工夫をしている。

保護者の肯定的評価が86.8%と昨年度より微増しました。児童一人一人の努力の過程や成果、成長の様子等をしっかりと見取り、価値付けながら次の目標に向けて、前向きに取り組めるよう評価の工夫を継続します。また、否定的評価が13%あることを真摯に受け止め、適正な評価の一層の推進に努めます。

4. 子どもは、友だちと楽しく学校生活を送っている



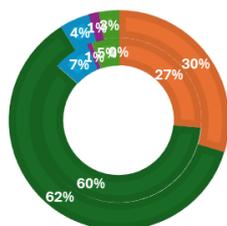
4. 子どもは、友だちと楽しく学校生活を送っている。

保護者の肯定的評価が96%と、高い評価をいただきました。児童アンケートでも、93.6%が肯定的回答をしていました。

友だちとの関わりの中で、学校が楽しく安心できる居場所であること、子どもたちが毎日笑顔で過ごすことができることは、私たち教職員の変わらぬ願いです。

今後も「心のふるさと二小」での生活が、子どもたちにとってかけがえのない宝物となるよう、努力を重ねてまいります。

5. 学校は、子どもが「時間を守る」「目と心で話を聴く」等、きまりや基本的な生活習慣を身に付けられるよう適切な指導をしている

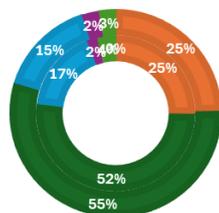


5. 学校は、子どもが「時間を守る」「目と心で話を聴く」等、基本的な生活習慣を身に付けられるように適切な指導を行っている。

保護者の肯定的評価が92%で、昨年度より高い評価をいただきました。児童アンケートでも、肯定的回答が91.8%でした。

今後も、「なぜきまりやルールが必要なのか」、「なぜきまりを守ることが必要なのか」を理解し、自分事として捉え、自分で考えて行動できる態度を育成してまいります。

6. 子どもは、すすんであいさつをしている

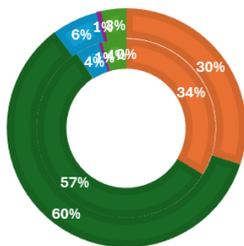


6. 子どもは、すすんであいさつをしている。

保護者と児童で、回答に差がある設問です。児童は肯定的回答が88.9%であるのに比べ、保護者は約18%が否定的評価をしています。

あいさつの励行については、重点的に取り組んでおりますが、その成果が学校生活以外の場面でまだ十分に生かされていないことがうかがえました。学校での成果がご家庭や地域でも発揮できるよう、引き続き、協力・連携を深めながら指導や取組の工夫をしてまいります。

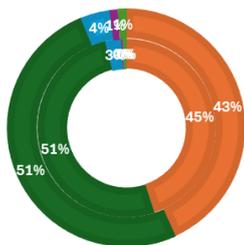
7. 学校は、体育学習の充実や各種の体育学習、校庭芝生の利活用等、子どもの体力向上に努めている



7、学校は、体育学習の充実や各種の体育学習、校庭芝生の利活用等、子どもの体力向上に努めている。

保護者の肯定的評価が90%と、高い評価をいただきました。今年度、体育の研究授業を2回行い、児童が体育学習の場においても、主体的・協働的な学びを実現できるよう体育授業の充実を図ってきました。また、学級や学年で「ちよこプラ1」の体育的活動を取り入れたり、体育委員会が主体となって、マラソン週間に「マラソンカード」に取り組んだりし、体力向上に努めました。

8. 学校は、学校図書館の活性化を図り、青葉週間や紅葉週間等、読書種活動を推進している



8、学校は、学校図書館の活性化を図り、青葉週間や紅葉週間等、読書活動を推進している。

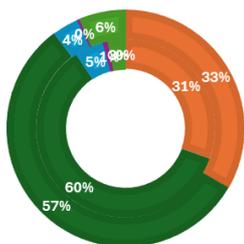
保護者と児童で、回答に差がある設問です。保護者は肯定的評価が94%であるのに比べ、児童は36.6%が否定的回答をしています。

学校図書館の利用率は高いですが、タブレット端末の普及や放課後の過ごし方の多様化により、子どもたちが落ち着いて本を開く時間が減少していることが推察されます。

学校では、「おすすめ本リスト」の配布や、教職員の「おすすめの一冊」の紹介、保護者による読み聞かせ活動、読書記録など、読書への関心・意欲が高まるような取組を行っております。

読書は、語彙を増やしたり、読解力を高めたりするだけでなく、想像力や共感力を育む大切な活動です。今後も本に親しむ環境づくりや取組の充実を図ってまいります。

9. 学校は、交通安全や不審者対応・災害時対応等、安全指導の充実に努めている



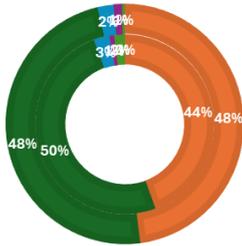
9、学校は、交通安全や不審者対応、災害時対応等、安全指導の充実に努めている。

保護者の肯定的評価が90%と、高い評価をいただきました。

学校では、毎週1回「生活指導夕会」を行い、教職員が共通認識をもち、子どもたちが安全・安心な学校生活を送れるよう安全指導の徹底を継続しています。また、調布警察署と連携した不審者侵入対応訓練の実施、校庭芝生や樹木の維持管理、校庭アスファルトの平滑化工事の実施、登下校時間帯以外の門扉閉の徹底、「すぐるー」を活用した迅速な情

報提供等、安全を確保するための対応や施設改善を図っています。

10. 学校は、保健・給食その他の活動を通して、健康づくり・健康教育に努力している



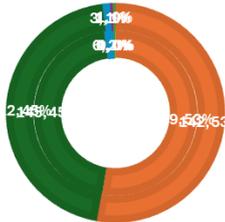
10、学校は、保健、給食その他の活動を通して、健康づくり・健康教育に努力している。

保護者の肯定的評価が96.4%で、昨年度より高い評価をいただきました。

毎日、栄養士が「給食メモ」を各教室に配布し、児童が食材の旬や栄養、食文化、食事のマナー等について知識を深め、自らの食生活について主体的に考える機会を提供しています。

また、食物アレルギー対応を徹底し、アレルギー事故防止に努めています。

11. 運動会や移動教室、学習発表会等の学校行事の充実を図り、子どもたちが目標をもって生活し、成長につながるよう取り組んでいる



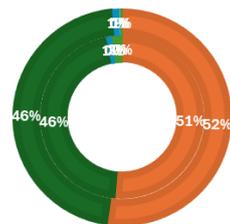
11、運動会や移動教室、学習発表会等の学校行事の充実を図り、子どもたちが目標をもって生活し、成長につながるよう取り組んでいる。

保護者の肯定的評価が98.2%で、大変高い評価をいただきました。

本校では、「キャリア・パスポート」等を活用し、子どもたちが学期や行事ごとに活動の目標を明確にもち、その達成に向けて努力を積み重ねるプロセスを大切にしながら、教育活動を進めています。今年度は、開校80周年の記念の年でもあり、児童自身も節目節目に自分の成長を振り返ってきました。

今後も、行事を通して達成感を味わい、自己実現を図ることができるよう、行事の機会を大切にしていきたいと思います。

12. 学校は、体験的な学びの充実やたてわり活動、ふれあい月間の子どもたちの主体的な活動を通して豊かな心の育成に努めている



12、学校は、体験的な学びの充実やたてわり活動、ふれあい月間の子どもたちの主体的な活動を通して豊かな心の育成に努めている。

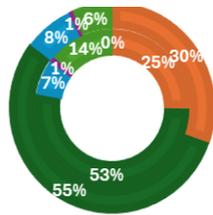
保護者の肯定的評価が98.5%と昨年度より微増しました。児童の肯定的回答も93.8%と高いです。

本校では、特色ある教育活動の1つとして、異学年による「たてわり活動」を重視しています。たてわり活動の推進により、自他尊重の気持ちや思いやりの心、自己有用感の育成を図っています。

また、「本物との出会い」を大切に、外部人材の活用や体験的な活動の充実を図ってきました。ふれあい月間には、「人権集会」、「いじ

め防止授業」、安全安心な学校生活をテーマとした標語やポスターづくりなどの児童の主体的な取組を進めています。今後も継続していきます。

13、学校は、地域と連携し、地域とともに子どもを育てる教育活動を推進している



13、学校は、地域と連携し、地域とともに子どもを育てる教育活動を推進している。

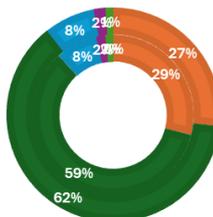
保護者の肯定的評価が85.3%と昨年度より高い評価をいただきました。

教職員のアンケートでは、肯定的回答が100%となっており、地域の皆様に様々な活動でご協力いただいたことで、連携が深まったという実感をもっていることがうかがえます。

体験的な学びの推進においては、地域の皆様に大変お力添えいただきました。また、健全育成推進第二地区委員会をはじめとする地域関係団体の皆様に、地域行事や様々な体験活動を実施していただき、参加率も上がっており、大変感謝しております。

今年度、「二小地区ネットワーク」が立ち上がり、今後も一層「地域とともに子どもを育てる」教育、「地域とともにある学校」づくりを推進していけますよう、ご協力よろしく願いいたします。

14、学校は、授業参観や学校行事、学校だよりや学級だより、ホームページ、すぐーる等を通じて、学校や子どもの様子等をわかりやすく伝える機会を設けている



14、学校は、授業参観や学校行事、学校だよりや学級だより、ホームページ、すぐーる等を通じて、学校や子どもの様子等をわかりやすく伝える機会を設けている。

保護者の肯定的評価が89.3%と昨年度より微増しました。

授業公開(平日・土曜ともに開催)や学校行事については、実施方法を工夫し、保護者の皆様にご理解とご協力をいただきながら、子どもたちの学校生活の様子をご覧いただく機会を計画してまいりました。

また、すぐーるを活用した迅速な情報提供に努めてきました。

「学校だよりを紙で配布してほしい」というお声をいくつかいただきました。ペーパーレス化の推進のため、すぐーる配信とさせていただいておりますが、職員室前のボックスに、紙のものもご用意しておりますので、学校にお立ち寄りの際にお取りいただいたり、お子さんにそこからもらうようお声かけしていただければと思います。

他にも、「毎日の給食の献立を親子で楽しみにしている。写真も見られると、さらに会話が広がる。」というお声もありましたので、3学期より、ホームページに「今日の給食」というコーナーを設けました。

お忙しい中、アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

自由記述では、「授業・学習」、「宿題」、「評価」、「保護者会」、「生活指導」、「行事」、「ICTの活用」、「友人関係」、「連絡方法」等にご意見をいただきました。

同じ事柄について、賛否両論あるものにつきましては、「子どもたちにとってよりよいと思われる方法」、「学校で実施可能な事柄」について今後も検討していきます。

数多くの励ましや感謝のお言葉を多くいただき

教員への励ましや感謝のお言葉も多くいただき、感謝しております。

否定的なご意見も真摯に受け止め、これからも「地域とともに子どもたちを育てていく」姿勢を大切に、保護者の皆様と連携しながら教育活動を進めてまいります。

『校長室だより』を毎回楽しみにしています。今まで知らなかったことがわかりました。」といううれしいお声もいただきました。

今後も、子どもたちの学びの成果や、生き生きと活躍する姿をご覧いただける機会や情報提供について、工夫しながら進めてまいります。